

どうする？

どうなる？

公共施設の将来のあい方を 考える市民対話 ～第1回～

〈福田・丸尾・西泊地区(同中学校区)〉



本日の流れ

- ・ 開会
- ・ アドバイザー及び職員の紹介(5分)
- ・ 今起きている“変化”と状況、及び福田・丸尾・西泊地区の現状について(25分)
- ・ グループでの話し合い(35分)
- ・ まとめ(35分)

◆対話の進めかた

第1回

令和3年12月18日(土)

- 施設の現状や見直しの必要性について
- 施設配置の市の基本的な考え方について



第2回

未定

- 福田・丸尾・西泊地区の公共施設の配置の考え方
- 第1回市民対話で出されたご意見への回答
- 対話のまとめ

地区に住んでいるからこそ
知っている課題や実態
などの意見



長崎市

地区別計画の策定

◆地区の分け方

- ◇地形・交通網から範囲を検討
- ◇人口規模の状況などを考慮

市内を17地区に設定



地区ごとに考えます

まちの
成り立ち



地形



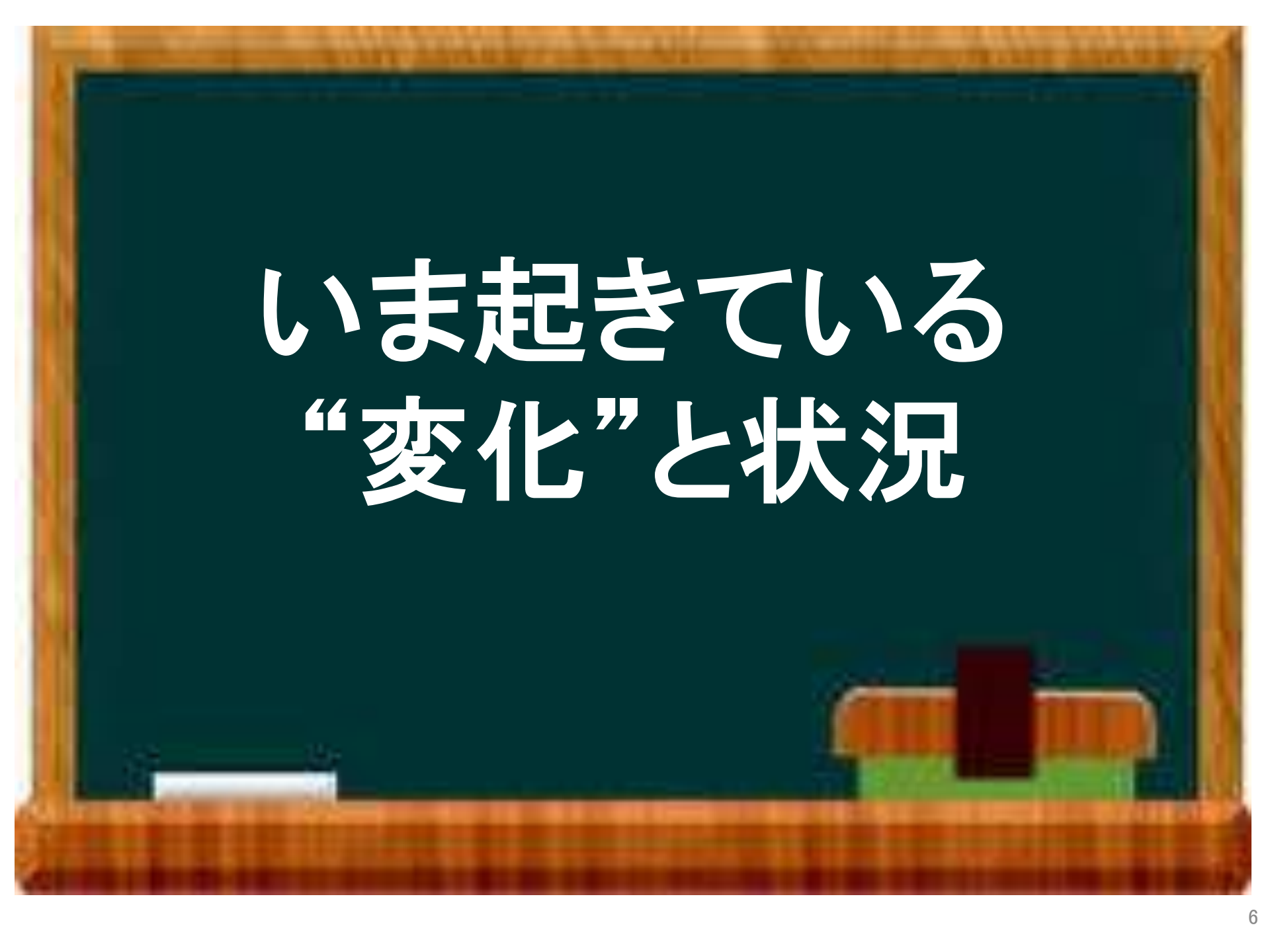
交通網



今後の
人口動態



日常生活の行動範囲や、地域の実情、
くらしの視点で公共施設について
皆さんと一緒に考えます。



いま起きている
“変化”と状況

私たちのまわりで起きている変化①



私たちのまわりで起きている変化②

人口減少



少子化



高齢化
(長寿化)

ひとり暮らし
世帯の増加



自然環境
の変化



私たちのまわりで起きている変化③

●コロナ禍での変化

- ・コンビニで住民票等の取得
- ・スマートフォンなどを使用した電子納税
- ・テレワークの普及
- ・オンライン会議の活用 etc....



コロナの終息後も、**新しい生活様式**が当たり前になり



ところで、

公共施設

行政サービス

って、どんなもの？

?



長崎市が設置・運営している

公共施設には、

- 図書館
- 市営住宅
- ふれあいセンター
- 公民館
- 体育館
- 老人憩の家
- 学校
- 庁舎
- 消防署

など、いろいろな施設があります。



図書館



学校



消防署

行政サービスとは、

行政が提供している、

みなさんの暮らしに必要なサービスのことで、

- 戸籍などの手続き
- 福祉
- 教育
- 子育て支援
- ごみ処理
- 消防
- 市営住宅やホールなどの管理・運営

などをいいます。



1. 公共施設が古くなっている <年度ごとの公共施設の建設量>

床面積 m^2

令和3年3月末現在
※行政財産(文化財等を除く)

500,000

450,000

400,000

350,000

300,000

250,000

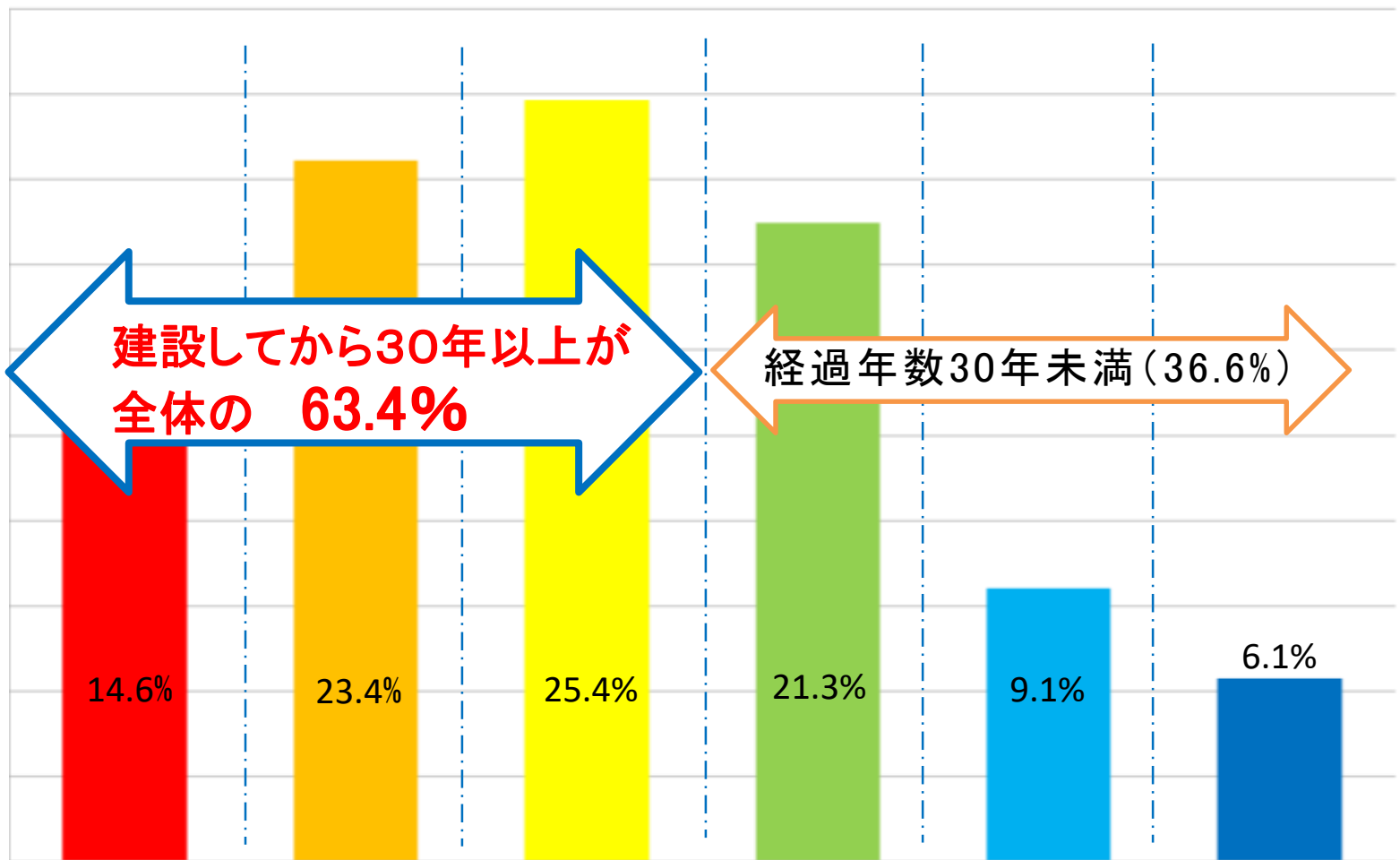
200,000

150,000

100,000

50,000

0



建設してから30年以上が
全体の 63.4%

経過年数30年未満 (36.6%)

~1970年
(S45年)

1971~1980年
(S46~55年)

1981~1990年
(S54~H2年)

1991~2000年
(H3~12年)

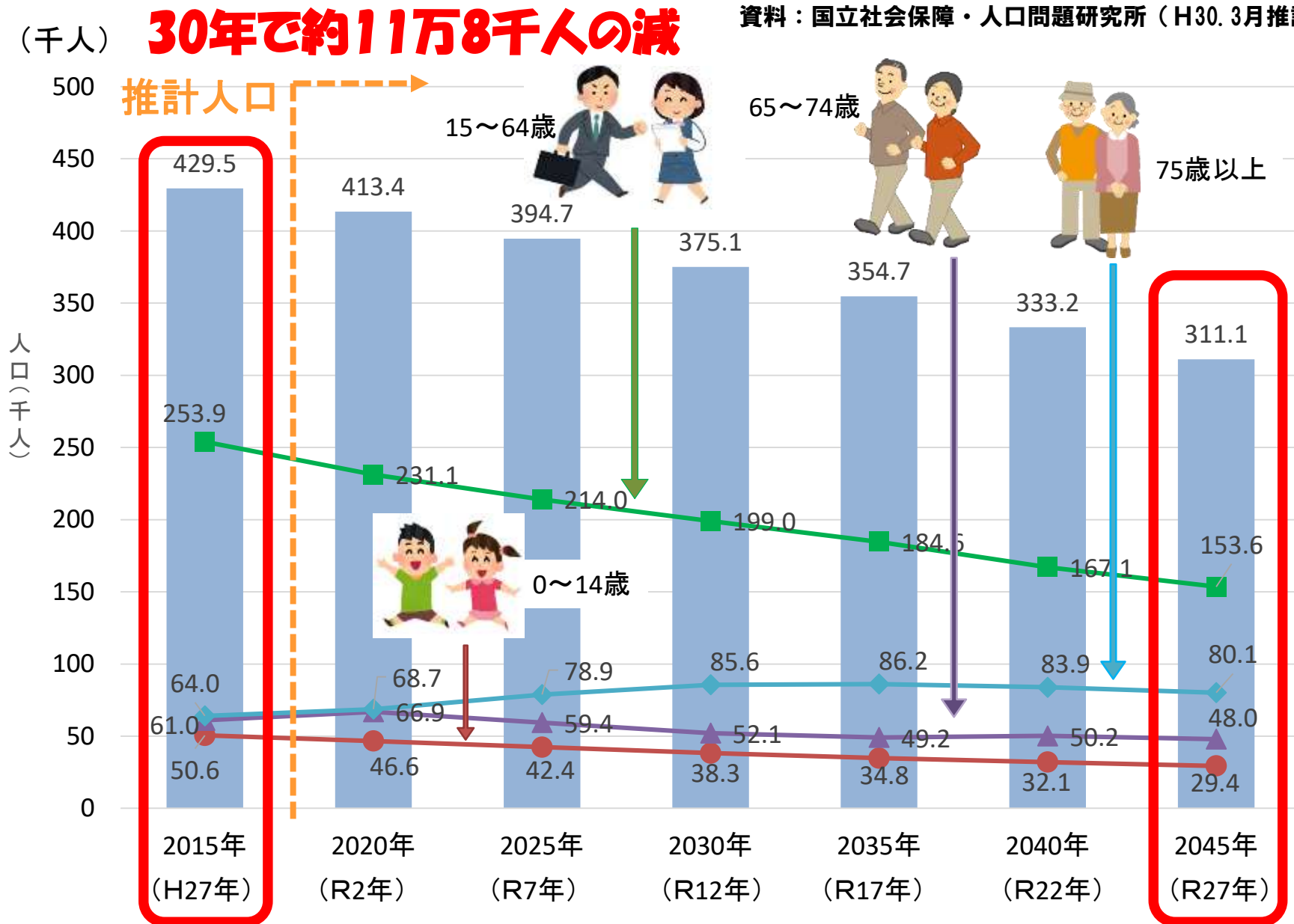
2001~2010年
(H13~22年)

2011~2020年
(H23~R2年)

建築年

2. 人口減少・少子高齢化が進んでいる

資料：国立社会保障・人口問題研究所（H30. 3月推計）



長崎市の現状

人口減少



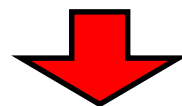
公共施設の
利用者の減少

なのに

公共施設の
量はそのまま



少子高齢化



医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

公共施設は古くなり、
修理に費用がかかる





コロナ禍を契機として.....

- 行政サービスの提供方法の変化
- 公共施設の在り方を見直す必要性





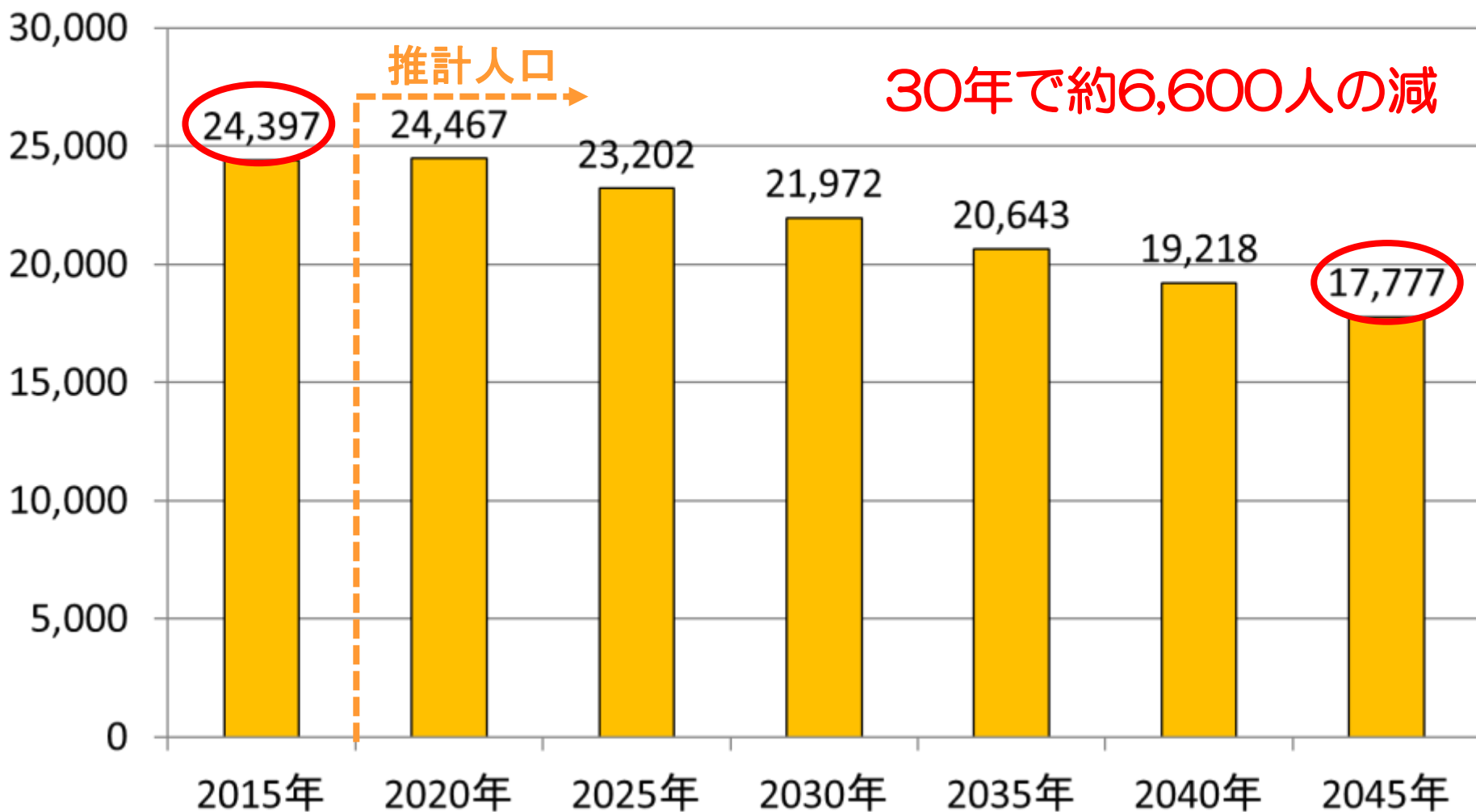
福田・丸尾・西泊地区の現状



1 福田・丸尾・西泊地区の将来推計人口

人口は30年で25%以上減

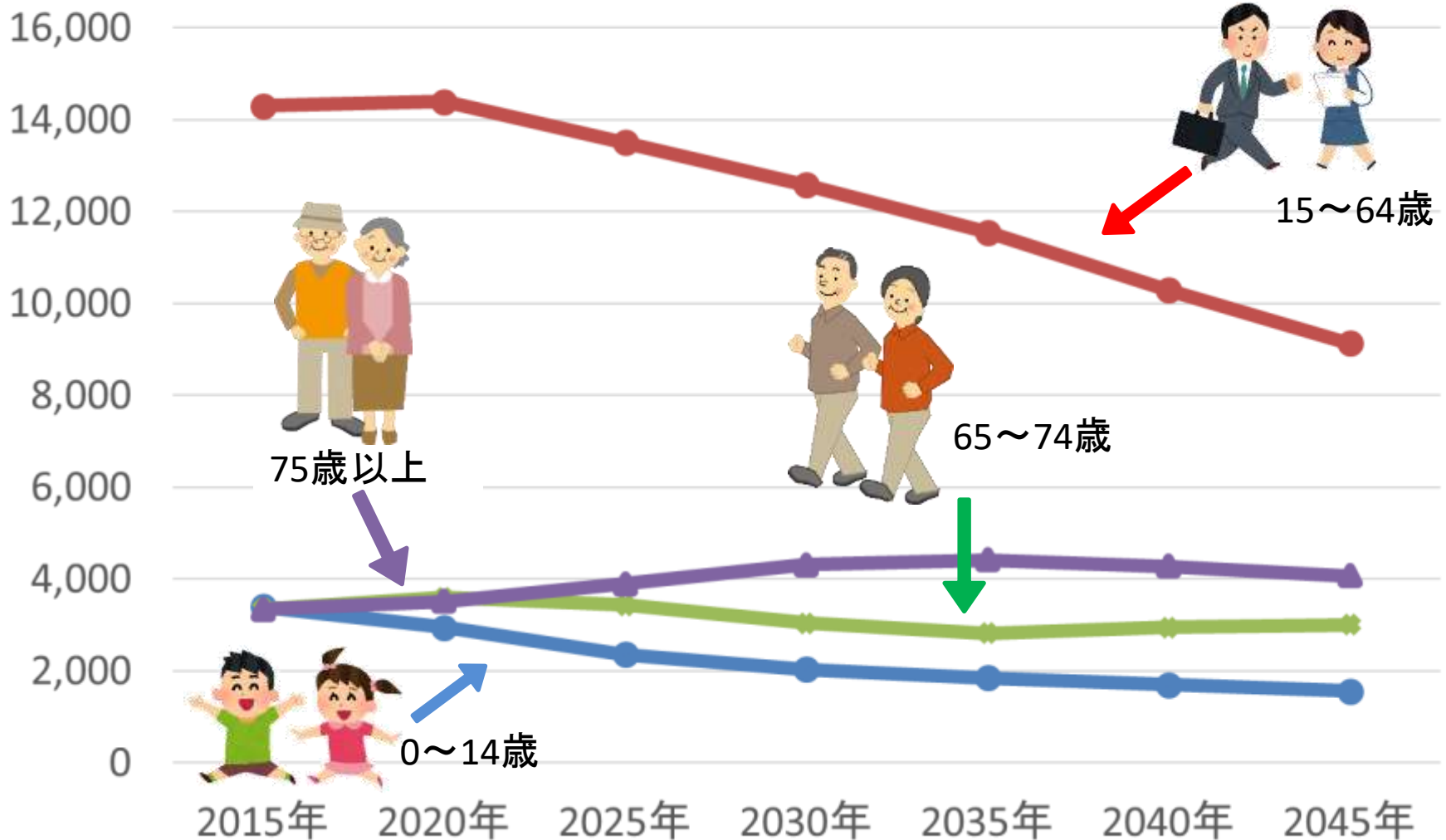
福田・丸尾・西泊地区の人口総数



1 福田・丸尾・西泊地区の将来推計人口

働く世代、高齢者ともに増加

【福田・丸尾・西泊地区】





福田・丸尾・西泊地区の 公共施設



市民利用型施設

(市民の皆さんが普段の生活の中で利用する施設)

スポーツ施設

都心部及び都心周辺部

➡ 大規模な大会に利用

かきどまり陸上競技場、市民体育館
市民総合プールなど

各地区からの交通の便が良い場所

➡ 地域における生涯スポーツの推進・スポーツの競技力向上
市民神の島プール、三重体育館など



地域の皆さんの身近なところ

・公園のグラウンド

➡ ・街区公園等の広場、ふれあいセンター等の軽スポーツ室

・小中学校の体育館、武道場、運動場



スポーツ施設



市民神の島プール

築年数

築 3 年

利用者数

75,839人／年間

- ・西工場の余熱を利用し、市民の体育の振興を図ることを目的に設置
- ・小榊小学校のプールの授業でも利用

現在の施設を
適正に管理

スポーツ施設



市民神の島プール

築年数

築3年

利用者数

75,839人／年間

・西工場の余熱を利用し、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与することを目的に設置
・小榊小学校のプールの授業でも利用

現在の施設を
適正に管理

34

★長崎市の公共施設の目標使用年数は原則として**65年**

適正管理とは？

◎目標使用年数(65年)まで安全に使用できるように適切な維持管理(施設の点検、設備機器の運転・点検・保守、清掃、修繕など)を行う

コミュニティ活動施設



木鉢地区ふれあいセンター



福田地区公民館



西公民館・老人憩の家ひまわり荘

『コミュニティ活動施設』について

コミュニティ活動に使える施設



児童館(遊戯室)

利用対象
18歳未満



ふれあいセンター(研修室)

利用対象
制限なし



老人福祉センター(集会室)

利用対象
60歳以上

使い方は
どれも

地域の身近な
活動の場



コミュニティ活動施設

『コミュニティ活動施設』について

使い方を見直す効果



昼間

夜間*



子ども専用

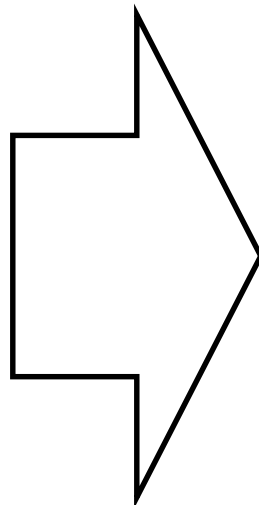
空いている…



高齢者専用

空いている…

使い方を見直したら…



昼間

夜間*



多世代交流ができる



集まりに使える



地域活動の場が増える



コミュニティ活動施設

市民に最も身近な場所でサービスを提供する施設は、概ね小学校区に配置

広いスペースや特定の設備が必要な施設は、概ね中学校区に配置

広域的利用施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便のよい場所に配置

市域全体から利用される施設は、交通の便のよい都心部及び都心周辺部に配置

木鉢地区ふれあいセンター



築年数

築44年

利用者数

13,930人／年間

木鉢地区ふれあいセンター

福田地区公民館



築年数

築50年

利用者数

13,976人／年間

福田地区公民館
「福田地域センター」と併設

西公民館



築年数

築49年

利用者数

36,456人／年間

西公民館

「老人憩の家ひまわり荘」と併設

老人憩の家 ひまわり荘



築年数

築49年

利用者数

15,858人／年間

老人憩の家 ひまわり荘
「西公民館」と併設

60歳以上の方を
対象とした施設



- ・多世代が利用できる地域のコミュニティ活動施設へ機能を集約
- ・入浴機能は代替策を検討

学校

築年数／児童・生徒数



福田小学校

築57年／355人



小榊小学校

築4年／644人



飽浦小学校

築26年／72人



朝日小学校

築66年／79人



福田中学校

築46年／189人



西泊中学校

築49年／187人



丸尾中学校

築52年／76人

放課後児童クラブ

築年数／月平均登録児童数



マリンキッズ

築24年／44人



海の子クラブ

築16年／42人



福田キッズ

築9年／44人



小柵児童クラブ

築4年／149人



なかよしハウス

築26年／22人



あさひっこクラブ

築66年／20人

子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るために設置

都市基盤施設

(都市のさまざまな活動を
支える基盤となる施設)

市営住宅

築年数／棟数／管理戸数



小浦住宅

築27年／8棟／267戸



福田本町住宅

築47年／6棟／141戸



大浜住宅

築46年／3棟／80戸



木鉢住宅

築28年／1棟／15戸

ごみ処理施設



西工場

築年数

築 4 年

- ・生活を営むうえで欠かせない施設
- ・東工場と合わせて、市内に2か所配置する



現在の施設を
適正に管理

公用施設

(行政事務執行のための施設)

消防署



築年数

築 9 年

中央消防署 飽の浦出張所

地域センター



小柵地域センター

築年数

築45年



**福田地域センター
「福田地区公民館」と併設**

築年数

築50年

公園施設

公園



健康づくりのための
機能の導入



防災・避難等災害に
対応できる機能



魅力的な子どもの
遊び場の創出



スポーツ施設等の
利用環境の充実

公園

公園の種別と標準面積

公園種別	標準面積
総合公園	利用目的に応じて適宜
運動公園	利用目的に応じて適宜
地区公園	4.0ha(40,000m ²)
近隣公園	2.0ha(20,000m ²)
街区公園	0.1ha(1,000m ²)

- 総合公園・・・都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供する
- 運動公園・・・都市住民全般の主として運動の用に供する
- 地区公園・・・主として徒歩圏内に居住する者の利用に供する
- 近隣公園・・・主として近隣に居住する者の利用に供する
- 街区公園・・・主として街区内に居住する者の利用に供する

近隣公園



みなと坂船の公園

街区公園



取組事例①

～外海地域センター黒崎事務所～

R4.1移転予定



黒崎事務所

- **旧耐震(改修済)**
(R3.3.31現在：築52年)
- **バリアフリーでない**
(2階建て)
(エレベーターなし)
- **駐車場5台分**



黒崎地区公民館

- **耐震性あり** ✨
- (R3.3.31現在：築5年)
- **バリアフリー対応** ✨
(2階建て)
(エレベーターあり)
- **駐車場30台分** ✨

取組事例①

～外海地域センター黒崎事務所～

R4.1移転予定



幅員が広がり
アクセスしやすく！



取組事例②

～野母崎樺島地区公民館～ H28.4



旧公民館



新公民館(旧樺島保育所)



旧お遊戯室が
講堂に！

- **耐震性なし**
(当時：築42年)
- **バリアフリーでない**
(3階建て)
(エレベーターなし)
- **駐車場4台分**



- **耐震性あり** ✨
- **バリアフリー対応** ✨
(平屋建て)
(スロープ設置)
- **駐車場14台分** ✨

取組事例③

～滑石地区ふれあいセンター～

R3.12予定



滑石地区ふれあいセンター

市民対話での意見を反映

子育て支援センターを設置

- ・耐震性あり
(R3.3.31現在：築30年)
- ・デイサービスセンター撤退後、
そのスペースが余剰スペースに



取組事例④

～長崎市立小榊小学校～

新西工場
(ごみ焼却場)



新しい学校に
プールはありません

余熱利用

プールを使用

授業で
プールを使用



市民のみなさん



神の島プール
(温水プール)



建て替え後の
小榊小学校

市民のみなさんと小学校の子どもたちが一緒に使います！

次のような視点で施設を考えます

建てられた年数
や修理状況



地震に
強い建物か



よく利用されて
いるか



使っていない
部屋はないか



バリアフリーに
対応しているか

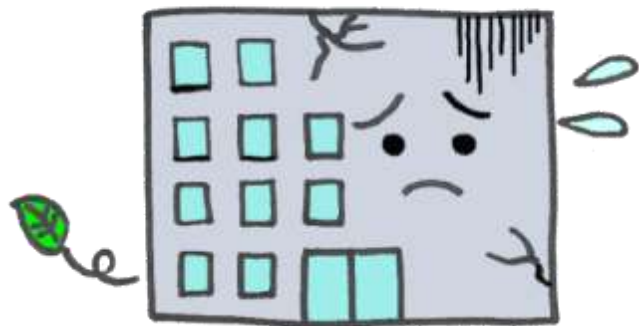


同じような
使われかたを
している建物が
ないか



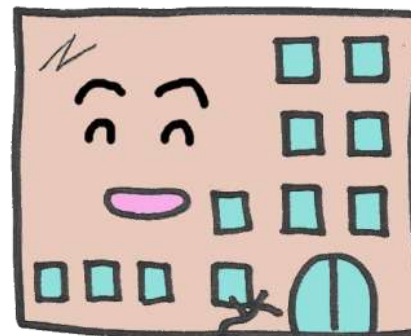
修理などに
費用が掛かりす
ぎていないか





廃止予定の施設

選択



使い続ける施設



廃止予定なのに
修理をするのは、
もったいないものね！

安全で安心して
利用できる施設管理
に努めます



考え方 2

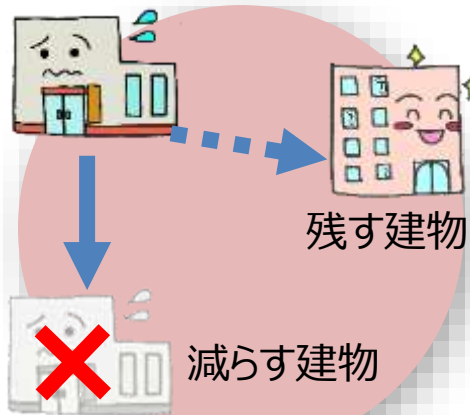
施設をまとめる



●いっしょに使う●



●時間をやりくり●



●活動は減らない●



●交流が活発に●

●次回(第2回)の対話●

第1回
令和3年12月18日(土)

- 施設の現状や見直しの必要性について
- 施設配置の市の基本的な考え方について



第2回
未定

- 福田・丸尾・西泊地区の公共施設の配置の考え方
- 第1回市民対話で出されたご意見への回答
- 対話のまとめ

10:00~

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、
令和4年2月5日(土)に開催を予定していた
第2回市民対話は延期となりました。
延期後の開催日時は改めてご案内します。

※配布

第2回もご持参をお願いします。

